



516号
 〒144-0052 東京都大田区蒲田
 5-10-2
 日港福会館5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール rouren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検数労働組合連合
 書記局



第5回 検数労連16夏季一時金交渉 14:00~15:15
両協会：これ以上の修正は困難・・・
組合は最大限の追求を図るも支給日との関係で収拾に
向けた機関手続き続きに入ることを表明。

《16夏季一時金有額回答》(最終)

【日検協会】(抜粋)

1. 支給額

(1) 職員・雇員

(本給+家族手当) ×乗率+都市加算+α
 (197,269円+8,215円) ×2.03カ月+40,753円+α
 全国平均 457,886円

(2) 見習員

{(本給+家族手当) ×2.03カ月+都市加算+α}
 ×0.8×在籍日数/180日

【全日検】(抜粋)

1. 支給額

(1) 算式(本給+役付) ×乗率+一律+α

職員平均 (202,573円) ×1.31+122,383円+α
 全国一人平均 387,754円+α

- ① 一律 =職員A 175,000円
- =職員B 115,000円
- ② α =調整加算
- ③ 特別評価 = 5,000円

(2) その他身分

- ① 見習職員 全国一律 80,000円
- ② 契約雇員 全国一律 110,000円
- ③ 準職員 全国一律 80,000円

【諸要求についての回答】
 厚生年金の負担割合の改善について、これまで通り労使折半をお願いしたい。

【日検協会】
 前回の交渉で労組より回答額が昨夏比マイナスであること、要求に対して未達であることで修正回答を求められたが、これまで説明してきた通り、下期利益が前年、前期を下回っている。しかしながら労組の要求を受けたことにより、様々な角度から再検討を重ねたが判断材料がない状態であり、これ以上の修正は困難であることを理解願いたい。今後としては、協会方針の『品質向上』と労組方針である『仕事と収入の確保』の両輪を以って収入の強化に繋げていきたい。

【国民的諸課題について】
 6月29日(水)第5回検数労連16夏季一時金交渉で、組合は両協会に対し、修正回答の提示を求めました。

【諸要求についての回答】
 厚生年金の負担割合の改善について、これまで通り労使折半をお願いしたい。

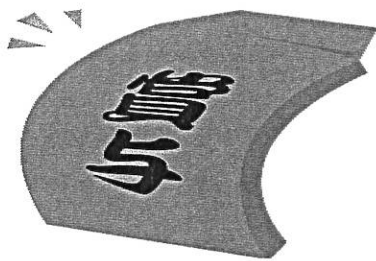
【全日検】
 前回の交渉で労組主張(特別評価の全体配分・全体的な積み上げ修正)を受け、持ち帰り再検討をした。特別評価については、マイナスの評価ではなくプラスの評価として捉えている。全体的な積み上げ修正については、コンテナ・鉄鋼・青果等の既存業務の減少に加え、イギリスのEU離脱問題による円高傾向など、今後不安もある中で、これ以上の修正回答は困難であることを理解願いたい。

【国民的諸課題について】
 協会としては答える立場にないことを理解願いたい。

【諸要求についての回答】
 修正回答および諸要求の前進がされなかったことに対しては不満が残るものの、支給日との関係ではこれ以上の困難と判断した。よって、現回答を以って収拾に向けた機関手続きに入る。

【組合主張】
 対角線交渉終了後、休憩を申し入れ、現回答に対する分析を行い、次の主張をしたうえで、収拾に向けた機関手続きに入る旨を表明しました。

【国民的諸課題について】
 企業としては答える立場にないことを理解願いたい。



※次回交渉：7月4日(月) 10:00~

第6回 検数労連16夏季一時金交渉

各地域闘争委員会7月1日(金) 17:00までに「中間見解」に対する意見を文書にて報告すること。

なお、本日以降、意見集約に向けた職場集会は30分を限度とします。

【重量証明の状況報告を求める】
 7月1日(金)からSOLAS条約に基づく重量証明が開始されることから、組合は両協会に対し、重量測定業務の取り組み状況などを8月中旬に各単組(日検労・全日検部会)に報告するよう求めました。